

ふるさと歴史アラカルト

藤岡市助とエジソン

藤岡市助といえ、白熱電灯の国産化や電車、エレベーターなどを日本に最初に導入したことで知られており「日本の電気の父」「日本のエジソン」とも呼ばれています。市内では市助が走らせた電車をイメージした電車型バス「いちすけ号」が平成11年から運行され、翌年には岩国学校教育資料館に藤岡市助記念コーナーが設置されました。また平成26年には横山に銅像が設置され、市ゆかりの先人の中でも最も知名度の高い人物の一人といえるのではないのでしょうか。

その市助に関するエピソードで、市助が電気の国産化を目指すようになった背景に、エジソンのアドバイスがあったという話が残っています。

これは明治17(1884)年、政府の使者としてアメリカに渡った市助がエジソンの研究室を訪れた際、エジソンに「電力が豊富でも電気器具を輸入するようでは、国は滅びる。まず電気器具の製造から手掛け、日本を自給自足の国にしなさい」と激励されたという

ものです。この話を裏付ける資料は現在確認できませんが、市助がエジソンの発明した電話機と白熱電灯の性能を称賛し、エジソンに電話機と白熱電灯を送ってもらえないかと手紙で依頼したところ、翌年エジソンから電話機一對と白熱電灯36個が工部大学校へ贈られたことが分かっています。

また市助は学生時代、エアトン教授から「現在には私たちがのような外国人の教師によつて学んでいるが、自国の将来を思つて深く覚悟しなければならぬ。科学工業が国家の独立を維持することの基礎となる」「人のまねをしてはいけない、何か物事があるときには決してそれをまねしようとすることはなく、さらに良いものを作るように、また発見するように心掛けなければならない」と指導を受けていました。

このように、エジソンとの交流とエアトン教授の教えが融合して、現在のような「市助が電気の国産化を目指した背景にエジソンのアドバイスがあった」という話になったと思われれます。

いわくにちようこかん 岩国徴古館

昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館

住所：横山二丁目7-19 ☎0452
休館日：月曜(祝日の場合はその翌日)

※1 工部大学校：市助が教授を務めていた大学
※2 エアトン教授：工部大学校で市助に電気工学を教え、日本で最初に電灯を点灯した



▶市助がエジソンに宛てた手紙の下書き



▶藤岡家に伝わっていたエジソンの絵はがき

岩国市 人口・世帯

人口 138,722人 【前月比 - 38人】 男性 65,739人 女性 72,983人

世帯 66,351世帯 【前月比 + 34世帯】 ※外国人人口を含む (平成28年9月1日現在)

交通事故発生件数 8月分事故件数 32件(309件) 死者 0人(6人) 傷者数 38人(370人)

※高速道路発生分を除く

※()内は平成28年累計

広報テレホン

休日在宅医療機関、イベント情報などをお知らせしています。テレホンサービス ☎231234

目の不自由な人へ

「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。音声読み上げのためのテキスト版を、ホームページに掲載しています。

お問い合わせはお気軽に、秘書広報課広報班へ ☎295016 FAX213337